

# 米の基本指針（案）に関する主なデータ

令和元年11月

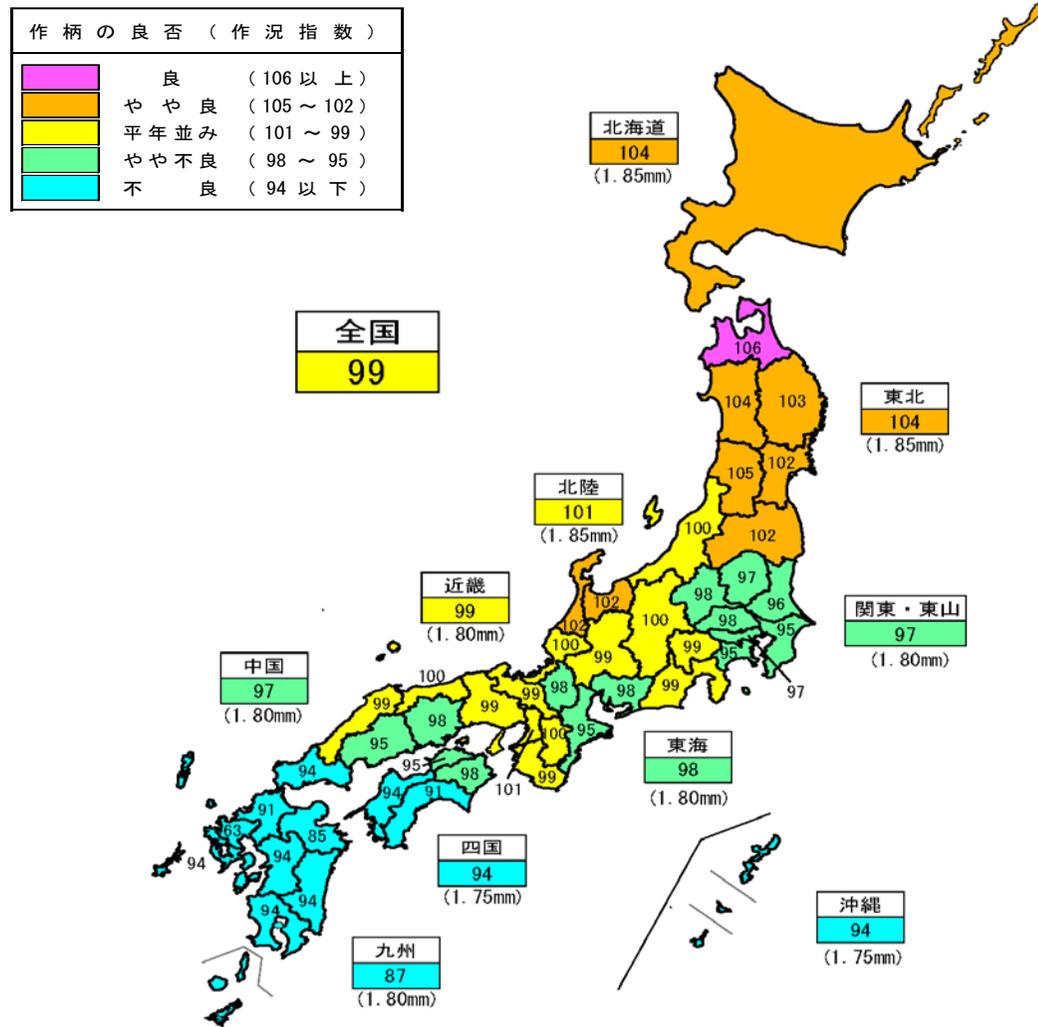
農林水産省



# 目次

- 全国農業地域・都道府県別作況指数(令和元年10月15日現在)…………… 2
- 令和元年産水稻の作付面積及び予想収穫量(令和元年10月15日現在)…3
- 令和元年産の水田における作付状況(確定値)……………4
- 令和元年産の水田における都道府県別の作付状況(確定値)……………5
- 相対取引価格の推移(平成21年産～令和元年産)……………7
- 産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成30/令和元年産)……………8
- 令和元年産米の相対取引価格(令和元年10月までの年産平均価格)……9
- 令和元年産備蓄米の落札結果について……………10
- 日米貿易協定交渉結果(コメ)……………11

# 全国農業地域・都道府県別作況指数(令和元年10月15日現在)【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：1 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

# 令和元年産水稻の作付面積及び予想収穫量(令和元年10月15日現在)

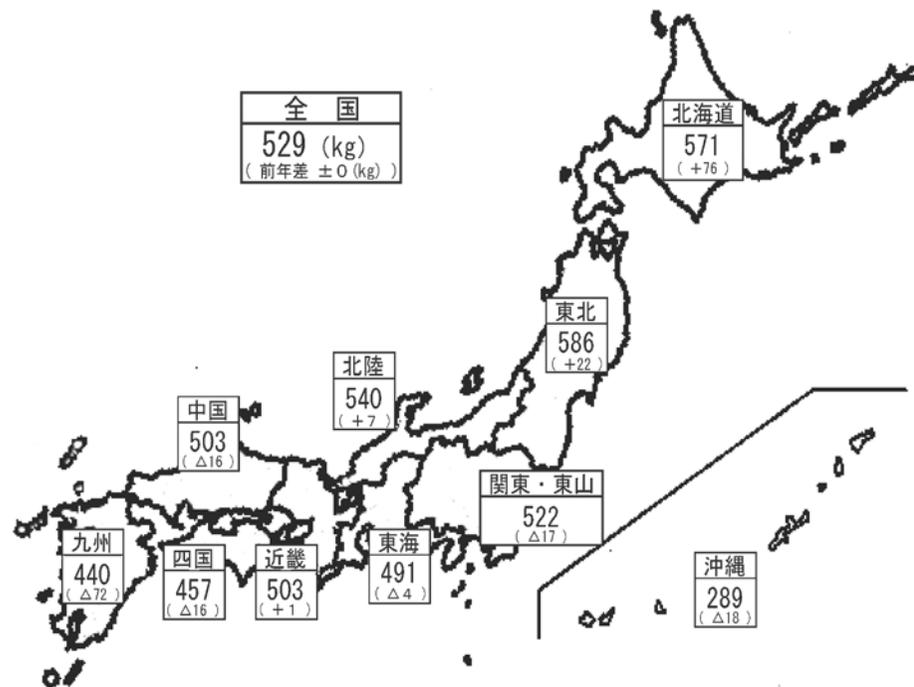
- 令和元年産の全国の主食用米の作付見込面積は、生産者・産地が主体的に作付判断を行った結果、都道府県ごとの増減があるものの、前年産(138.6万ha)から0.7万ha減少の137.9万haとなった。
- 全国の10a当たり予想収量は529kg(前年産529kg)で、作況指数は「99」(前年産「98」)、主食用米の予想収穫量は727万トン(前年産733万トン)が見込まれる。

## 令和元年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

全国 農業地域	作付面積(子実用)			10a当たり予想収量		予想収穫量(子実用)			参 考		
	実数 ①	前年産との比較		実数 ②	前年産との比較 対差	実数 ③=①×②	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 (主食用) ⑤=④×②	作況指数
		対差	対比				対差	対比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,469,000	△ 1,000	100	529	0	7,771,000	△ 9,000	100	1,379,000	7,270,000	99
北 海 道	103,000	△ 1,000	99	571	76	588,100	73,300	114	97,000	553,900	104
東 北	382,000	2,900	101	586	22	2,239,000	102,000	105	344,600	2,015,000	104
北 陸	206,500	900	100	540	7	1,115,000	19,000	102	186,400	1,007,000	101
関東・東山	271,100	800	100	522	△ 17	1,414,000	△ 43,000	97	258,400	1,348,000	97
東 海	93,100	△ 300	100	491	△ 4	457,200	△ 5,200	99	90,500	444,900	98
近 畿	102,600	△ 500	100	503	1	516,400	△ 1,100	100	99,000	498,000	99
中 国	102,100	△ 1,600	98	503	△ 16	513,600	△ 24,200	96	99,400	500,200	97
四 国	48,300	△ 1,000	98	457	△ 16	220,700	△ 12,700	95	47,800	218,500	94
九 州	160,000	△ 400	100	440	△ 72	704,600	△ 116,700	86	155,100	682,300	87
沖 縄	677	△ 39	95	289	△ 18	1,960	△ 240	89	665	1,920	94

- 注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
 2 予想収穫量(子実用)及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量を用いた。  
 4 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

## 全国農業地域別10a当たり予想収量(10月15日現在)



# 令和元年産の水田における作付状況(確定値)

- ・ 全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（138.6万ha）から0.7万ha減少し、137.9万haとなった。
- ・ また、戦略作物等については、備蓄米の作付面積が増加する一方、加工用米及び飼料用米が減少し、その他の戦略作物については、総じて前年並みとなった。

## 【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	備蓄米	戦略作物 (万ha)							
			加工用米	新規需要米			麦	大豆	その他	
				飼料用米	WCS 〔 稲発酵 粗飼料稲〕	米粉用米				新市場 開拓用米 (輸出用米等)
H27年産	140.6	4.5	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0
28年産	138.1	4.0	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2
29年産	137.0	3.5	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2
30年産	138.6	2.2	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2
R元年産	137.9	3.3	4.7	7.3	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：その他は、飼料作物、そば、なたね等の面積。

注4：麦、大豆、その他（基幹作のみ）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積。

# 令和元年産の水田における都道府県別の作付状況(確定値)

(ha)

都道府県	主食用米			備蓄米	戦略作物										
	①	【参考】			加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね
		前年産 (30年産) ②	増減 ①-②			飼料用米	WCS 〔 稲発酵 粗飼料稲〕	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	その他					
全国計	137.9万	138.6万	▲ 0.7万	32,818	46,737	72,509	42,450	5,306	4,097	114	97,197	86,299	72,766	28,189	874
北海道	97,000	98,900	▲ 1,900	381	5,022	1,974	573	50	591	-	33,132	18,810	25,517	9,205	628
青森	39,200	39,600	▲ 400	4,505	1,162	4,765	652	6	131	-	626	4,253	4,736	1,228	11
岩手	48,300	48,800	▲ 500	651	1,292	3,724	1,673	57	177	1	3,347	3,519	7,768	666	14
宮城	64,800	64,500	+ 300	2,167	836	4,871	2,053	72	442	5	1,700	9,403	5,370	443	7
秋田	74,900	75,000	▲ 100	3,738	8,439	1,601	1,144	391	249	2	190	7,895	2,166	2,868	15
山形	56,900	56,400	+ 500	3,561	3,708	3,444	922	124	167	3	87	4,596	2,653	4,363	9
福島	60,400	61,200	▲ 800	4,800	446	4,623	1,013	2	63	2	248	792	1,611	1,763	74
茨城	66,400	66,800	▲ 400	208	1,286	7,707	527	17	400	-	4,370	391	512	350	5
栃木	54,900	54,700	+ 200	1,386	2,098	8,414	1,620	699	52	1	7,148	339	2,848	1,016	3
群馬	13,600	13,700	▲ 100	114	1,473	1,003	528	337	14	-	2,118	110	192	20	1
埼玉	30,900	30,800	+ 100	92	247	1,281	106	749	29	-	1,686	330	124	54	3
千葉	53,700	53,900	▲ 200	714	1,534	3,914	912	33	14	-	539	181	271	7	-
東京	129	133	▲ 4	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3,040	3,080	▲ 40	-	-	10	-	1	-	-	6	4	6	0	-
新潟	106,800	104,700	+ 2,100	4,502	5,626	2,213	383	1,405	777	0	177	3,972	321	828	4
富山	33,300	33,300	+ 0	2,235	1,259	1,301	432	86	274	-	2,930	3,681	265	199	14
石川	22,700	23,200	▲ 500	1,471	539	579	93	119	53	-	882	877	34	141	0
福井	23,600	23,600	+ 0	780	544	1,163	93	80	157	-	4,612	130	28	515	-
山梨	4,810	4,820	▲ 10	-	67	16	12	8	-	-	57	94	27	112	0
長野	30,900	31,300	▲ 400	233	747	235	216	23	68	-	2,358	522	511	2,226	0
岐阜	21,400	21,500	▲ 100	92	921	2,336	188	27	77	-	3,298	339	588	250	-
静岡	15,600	15,700	▲ 100	4	127	1,136	239	13	1	-	240	44	52	26	-
愛知	26,600	26,700	▲ 100	167	667	1,272	179	73	21	-	5,135	116	124	13	5
三重	26,900	27,100	▲ 200	53	212	1,613	249	96	66	-	6,057	281	80	21	19

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

# 令和元年産の水田における都道府県別の作付状況(確定値)

(ha)

都道府県	主食用米 ①	【参考】		備蓄米	戦略作物										
		前年産 (30年産) ②	増減 ①-②		新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	
					加工用米	飼料用米	WCS 〔稲発酵 粗飼料稲〕	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)						その他
滋賀	30,200	30,100	+ 100	264	981	958	231	29	168	-	7,364	404	152	104	24
京都	13,800	13,900	▲ 100	-	514	99	114	7	19	-	236	228	53	107	-
大阪	4,850	5,000	▲ 150	-	0	6	-	5	-	-	2	5	1	0	-
兵庫	35,300	35,500	▲ 200	-	703	305	789	24	3	7	1,854	1,480	790	137	11
奈良	8,450	8,530	▲ 80	-	20	30	38	25	-	-	64	19	5	1	0
和歌山	6,360	6,430	▲ 70	-	-	2	2	0	-	-	1	14	3	2	-
鳥取	12,600	12,700	▲ 100	78	19	685	368	0	-	0	25	587	755	293	0
島根	16,900	17,200	▲ 300	25	298	794	545	10	3	1	287	538	433	304	4
岡山	29,300	29,400	▲ 100	183	368	1,076	327	85	3	2	1,114	1,103	867	122	0
広島	22,200	22,900	▲ 700	4	357	332	552	112	6	0	251	274	963	255	-
山口	18,400	18,900	▲ 500	-	913	893	318	15	1	1	696	736	899	38	-
徳島	11,000	11,200	▲ 200	246	17	476	220	14	24	-	44	12	104	3	-
香川	12,000	12,500	▲ 500	-	45	121	125	10	2	0	949	48	96	11	2
愛媛	13,500	13,900	▲ 400	-	41	288	134	4	-	-	504	305	212	1	-
高知	11,300	11,400	▲ 100	2	64	880	236	14	-	-	5	58	119	1	-
福岡	34,500	34,900	▲ 400	51	220	1,969	1,497	209	6	-	1,320	7,941	417	49	1
佐賀	23,700	24,000	▲ 300	43	373	558	1,448	14	5	0	153	7,805	361	15	1
長崎	11,300	11,400	▲ 100	2	9	128	1,218	6	-	-	75	312	1,923	43	2
熊本	32,300	32,300	+ 0	46	717	1,175	7,757	220	16	52	714	2,037	2,255	175	9
大分	20,400	20,600	▲ 200	18	137	1,362	2,458	10	-	-	543	1,281	1,012	84	4
宮崎	14,600	14,700	▲ 100	-	1,478	431	6,625	20	18	35	11	198	3,278	42	0
鹿児島	18,300	18,300	+ 0	-	1,199	742	3,641	8	-	2	42	234	2,243	87	3
沖縄	665	716	▲ 51	-	12	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

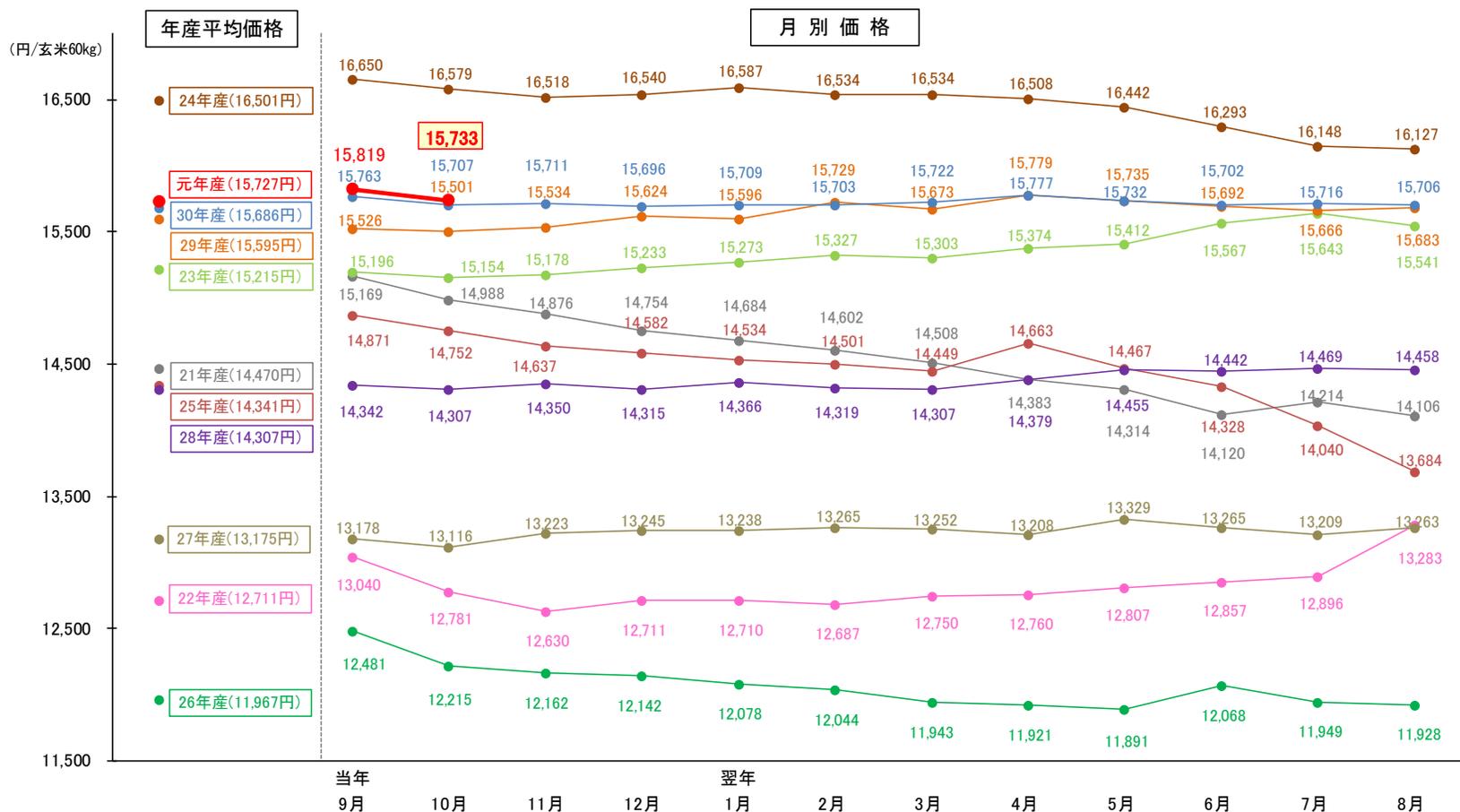
※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

# 相対取引価格の推移(平成21年産～令和元年産)

○ 令和元年産米の令和元年10月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,733円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産+41円/60kgとなったところ。

相対取引価格の推移(税込)  
(全銘柄平均価格)

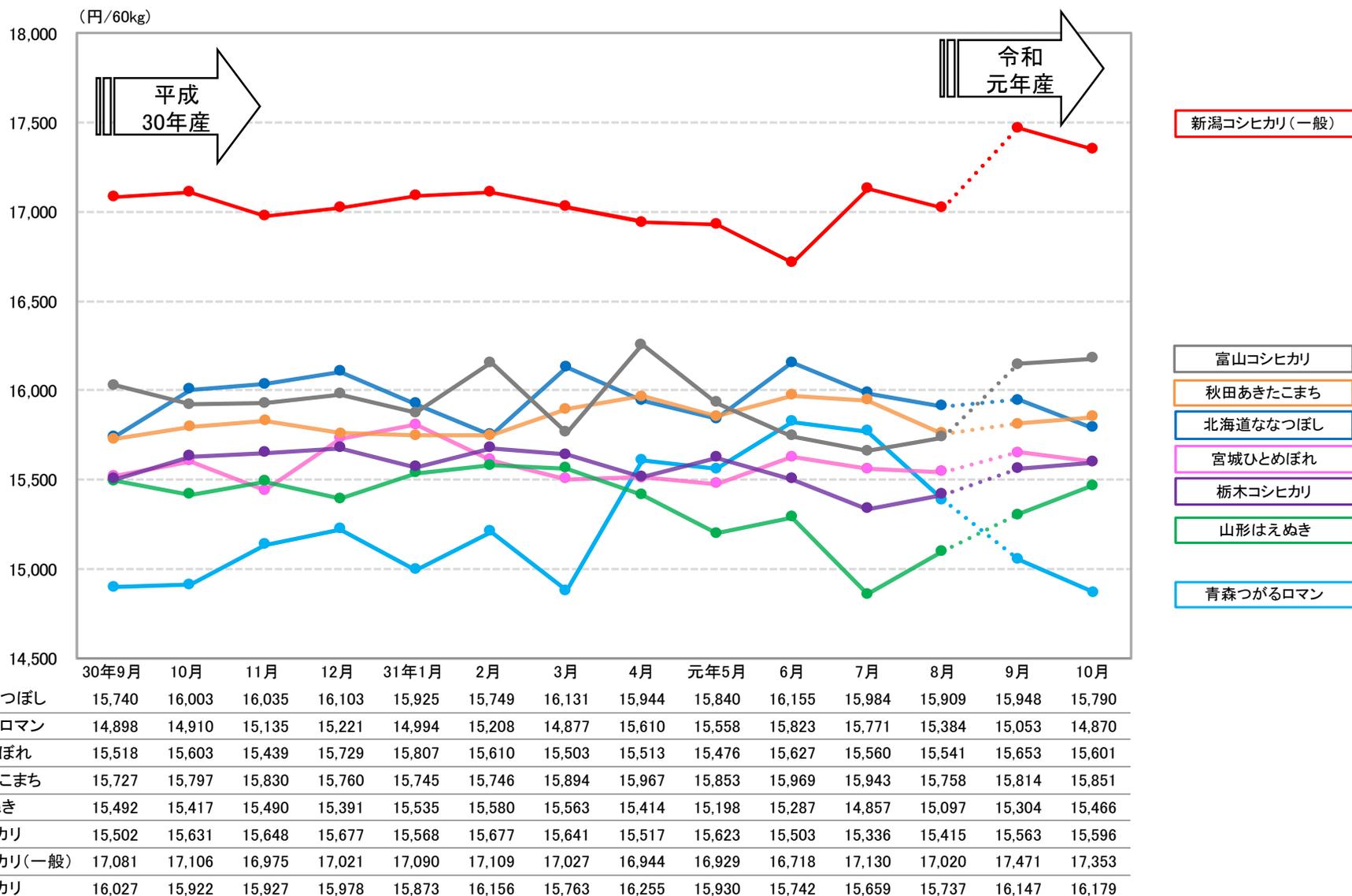


資料：農林水産省調べ

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、令和元年10月以降は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

注2：グラフの左側は各年産の通年平均価格（当該年産の出回りから翌年10月（平成30年産は令和元年8月、令和元年産は令和元年10月）まで）、右側は月ごとの価格の推移。

# 産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成30/令和元年産)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、令和元年10月以降は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

注2：令和元年8月までは平成30年産、9月以降は令和元年産の価格である。

# 令和元年産米の相対取引価格（令和元年10月までの年産平均価格）

（単位：円／玄米60kg（税込））

産地品種銘柄	令和元年産 （出回り～ 元年10月）	平成30年産 （出回り～ 元年8月）	価格差 ①－②	
	①	②		
北海道	ななつばし	15,821	16,000	▲ 179
北海道	ゆめびりか	17,099	16,263	+ 836
北海道	きらら397	15,407	15,540	▲ 133
青森	まっしぐら	14,490	14,762	▲ 272
青森	つがるロマン	14,887	15,069	▲ 182
岩手	ひとめぼれ	15,357	15,334	+ 23
岩手	あきたこまち	15,244	15,251	▲ 7
岩手	銀河のしずく	16,265	-	-
宮城	ひとめぼれ	15,608	15,532	+ 76
宮城	つや姫	15,885	15,845	+ 40
宮城	ササニシキ	15,773	15,761	+ 12
秋田	あきたこまち	15,839	15,840	▲ 1
秋田	めんこいな	14,542	14,779	▲ 237
秋田	ひとめぼれ	15,133	15,437	▲ 304
山形	はえぬき	15,445	15,418	+ 27
山形	つや姫	18,558	18,346	+ 212
山形	ひとめぼれ	16,645	15,981	+ 664
福島	コシヒカリ（中通り）	15,170	15,460	▲ 290
福島	コシヒカリ（会津）	16,149	15,532	+ 617
福島	コシヒカリ（浜通り）	15,327	15,086	+ 241
福島	ひとめぼれ	14,834	14,973	▲ 139
福島	天のつぶ	14,407	14,603	▲ 196
茨城	コシヒカリ	15,745	15,543	+ 202
茨城	あきたこまち	15,499	15,102	+ 397
栃木	コシヒカリ	15,581	15,599	▲ 18
栃木	あさひの夢	14,406	14,790	▲ 384
栃木	とちぎの星	14,744	-	-
群馬	あさひの夢	13,395	15,166	▲ 1,771
群馬	ゆめまつり	-	14,926	-
埼玉	彩のかがやき	14,916	15,165	▲ 249
埼玉	コシヒカリ	15,172	15,472	▲ 300
埼玉	彩のきずな	14,976	15,180	▲ 204
千葉	コシヒカリ	15,768	15,517	+ 251
千葉	ふさこがね	14,787	14,638	+ 149
千葉	ふさおとめ	14,999	14,766	+ 233
山梨	コシヒカリ	18,398	18,016	+ 382
長野	コシヒカリ	16,063	16,084	▲ 21
長野	あきたこまち	15,307	15,256	+ 51
静岡	コシヒカリ	16,115	15,971	+ 144

産地品種銘柄	令和元年産 （出回り～ 元年10月）	平成30年産 （出回り～ 元年8月）	価格差 ①－②	
	①	②		
静岡	きぬむすめ	15,090	14,951	+ 139
静岡	あいちのかおり	-	14,936	-
新潟	コシヒカリ（一般）	17,408	17,040	+ 368
新潟	コシヒカリ（魚沼）	20,988	21,127	▲ 139
新潟	コシヒカリ（佐渡）	17,870	17,514	+ 356
新潟	コシヒカリ（岩船）	17,833	17,455	+ 378
新潟	こしいぶき	15,083	15,097	▲ 14
富山	コシヒカリ	16,156	15,951	+ 205
富山	てんたかく	14,905	14,755	+ 150
石川	コシヒカリ	16,007	15,887	+ 120
石川	ゆめみづほ	14,659	14,651	+ 8
福井	コシヒカリ	16,216	16,144	+ 72
福井	ハナエチゼン	15,113	14,924	+ 189
福井	あきさかり	15,194	-	-
岐阜	ハツシモ	15,369	15,331	+ 38
岐阜	コシヒカリ	16,036	15,948	+ 88
愛知	あいちのかおり	14,725	14,500	+ 225
愛知	コシヒカリ	-	15,347	-
愛知	大地の風	-	14,691	-
三重	コシヒカリ（一般）	15,593	15,393	+ 200
三重	コシヒカリ（伊賀）	15,935	15,881	+ 54
三重	キヌヒカリ	14,869	14,813	+ 56
滋賀	コシヒカリ	15,887	15,649	+ 238
滋賀	キヌヒカリ	14,919	14,762	+ 157
滋賀	みずかがみ	15,761	-	-
京都	コシヒカリ	16,194	15,725	+ 469
京都	キヌヒカリ	15,324	14,936	+ 388
京都	ヒノヒカリ	-	15,547	-
兵庫	コシヒカリ	16,169	16,010	+ 159
兵庫	ヒノヒカリ	-	14,798	-
兵庫	キヌヒカリ	14,627	14,842	▲ 215
奈良	ヒノヒカリ	15,842	15,538	+ 304
鳥取	きぬむすめ	14,538	14,683	▲ 145
鳥取	コシヒカリ	15,098	15,464	▲ 366
鳥取	ひとめぼれ	14,630	14,495	+ 135
島根	コシヒカリ	15,399	15,738	▲ 339
島根	きぬむすめ	14,699	14,824	▲ 125
島根	つや姫	15,457	15,597	▲ 140
岡山	アケボノ	-	14,939	-

産地品種銘柄	令和元年産 （出回り～ 元年10月）	平成30年産 （出回り～ 元年8月）	価格差 ①－②	
	①	②		
岡山	あきたこまち	15,506	15,059	+ 447
岡山	ヒノヒカリ	15,527	15,276	+ 251
広島	コシヒカリ	15,997	15,423	+ 574
広島	あきさかり	14,867	14,500	+ 367
広島	あきろまん	14,803	14,373	+ 430
山口	コシヒカリ	15,516	15,266	+ 250
山口	ひとめぼれ	14,565	14,404	+ 161
山口	ヒノヒカリ	14,551	14,406	+ 145
徳島	コシヒカリ	15,743	15,867	▲ 124
徳島	キヌヒカリ	15,336	15,102	+ 234
香川	コシヒカリ	15,276	15,259	+ 17
香川	ヒノヒカリ	14,823	14,802	+ 21
香川	おいでまい	15,379	15,382	▲ 3
愛媛	コシヒカリ	15,674	15,536	+ 138
愛媛	ヒノヒカリ	-	15,190	-
愛媛	あきたこまち	14,979	14,946	+ 33
高知	コシヒカリ	-	15,171	-
高知	ヒノヒカリ	-	14,358	-
福岡	夢つし	16,410	16,267	+ 143
福岡	ヒノヒカリ	15,523	15,448	+ 75
福岡	元気つくし	16,236	16,093	+ 143
佐賀	夢しずく	15,089	14,430	+ 659
佐賀	さがびより	-	15,027	-
佐賀	ヒノヒカリ	-	14,236	-
長崎	にこまる	-	15,796	-
長崎	ヒノヒカリ	15,047	15,476	▲ 429
長崎	コシヒカリ	16,013	16,383	▲ 370
熊本	ヒノヒカリ	14,770	15,147	▲ 377
熊本	森のくまさん	-	14,891	-
熊本	コシヒカリ	15,719	15,719	± 0
大分	ヒノヒカリ	15,517	15,655	▲ 138
大分	ひとめぼれ	15,855	15,764	+ 91
大分	つや姫	15,983	-	-
宮崎	コシヒカリ	16,042	15,458	+ 584
宮崎	ヒノヒカリ	15,725	16,010	▲ 285
鹿児島	ヒノヒカリ	15,723	16,092	▲ 369
鹿児島	あきほなみ	-	16,929	-
鹿児島	コシヒカリ	16,677	16,307	+ 370
全銘柄平均価格				
令和元年産	15,727	15,686	+ 41	

注 1：農林水産省が調査・公表した出回りからの年産平均価格（平成30年産は令和元年8月まで、令和元年産は令和元年10月まで）であり、調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者（年間の販売数量5,000トン以上等）。  
 2：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、令和元年10月以降は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。  
 3：「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行っていないもの。

# 令和元年産備蓄米の落札結果について

(単位:トン)

産地	(A)買入予定数量 (優先枠)	(B)1~11回落札 合計数量	落札率 (B)/(A)	落札残 (A)-(B)
北海道	4,200	2,162	51.5%	2,038
青森	26,600	26,544	99.8%	56
岩手	3,530	3,478	98.5%	52
宮城	11,600	11,600	100.0%	0
秋田	28,000	21,572	77.0%	6,428
山形	30,500	21,291	69.8%	9,209
福島	27,000	26,601	98.5%	399
茨城	700	700	100.0%	0
栃木	7,500	7,487	99.8%	13
群馬	30	30	100.0%	0
埼玉	220	220	100.0%	0
千葉	1,580	1,580	100.0%	0
東京	0	0	—	—
神奈川	0	0	—	—
新潟	27,800	25,089	90.2%	2,711
富山	17,400	12,197	70.1%	5,203
石川	7,430	7,325	98.6%	105
福井	4,500	4,050	90.0%	450
山梨	0	0	—	—
長野	1,500	1,426	95.1%	74
岐阜	450	435	96.7%	15
静岡	20	20	100.0%	0
愛知	2,000	822	41.1%	1,178
三重	270	248	91.9%	22
滋賀	1,670	1,318	78.9%	352

産地	(A)買入予定数量 (優先枠)	(B)1~11回落札 合計数量	落札率 (B)/(A)	落札残 (A)-(B)
京都	0	0	—	—
大阪	0	0	—	—
兵庫	0	0	—	—
奈良	0	0	—	—
和歌山	0	0	—	—
鳥取	700	400	57.1%	300
島根	130	130	100.0%	0
岡山	1,780	977	54.9%	803
広島	0	0	—	—
山口	0	0	—	—
徳島	1,120	1,116	99.6%	4
香川	0	0	—	—
愛媛	0	0	—	—
高知	10	10	100.0%	0
福岡	270	264	97.8%	6
佐賀	220	220	100.0%	0
長崎	20	10	50.0%	10
熊本	290	247	85.2%	43
大分	100	94	94.0%	6
宮崎	0	0	—	—
鹿児島	0	0	—	—
県別優先枠計①	209,140	179,663	85.9%	29,477
一般枠②	—	5,651	—	—
合計(①+②)	209,140	185,314	88.6%	23,826
うちCPTPP分		9,000	—	—

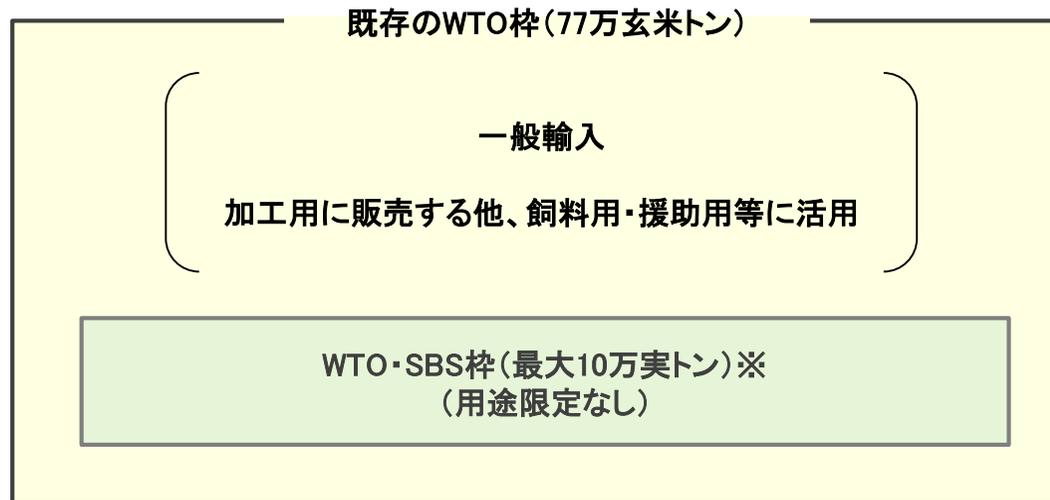
	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	209,000	185,314	88.7%	23,686

- 米粒(粳、玄米、精米、碎米)のほか、調製品を含め、米関係は、**全て除外(米国枠も設けない)**。

※ 既存のWTO・SBS枠(最大10万実トン)について、透明性を確保するため、入札件数など入札結果を公表。

(注)SBS:国家貿易の下で、輸入業者と国内の実需者との実質的な直接取引を可能とする売買方式。

## 【参考1】



## 【参考2】TPP合意内容

- 米・米粉等の国家貿易品目について、国別枠を新設。
  - ・ 米国枠:5万実トン(当初3年維持)→7万実トン(13年目以降)
  - ・ 豪州枠:0.6万実トン(当初3年維持)→0.84万実トン(13年目以降)
- それ以外の米の加工品・調製品(民間貿易品目)について、以下の対応。
  - ・ 一定の輸入がある品目等は、関税を5~25%削減
  - ・ 輸入量が少ない又は関税率が低い品目等は、関税を削減・撤廃